

審議会等の議事の要旨（要点）

会議名称	第2回生涯学習推進審議会
開催日時	平成26年4月22日（火曜日） 午後6時5分～午後8時5分
開催場所	立川市女性総合センター・アイム 第3学習室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 辞令伝達 3 会議資料確認 4 確認事項 <ol style="list-style-type: none"> ①審議会傍聴について ②審議会議事録について <ul style="list-style-type: none"> ・議事録作成スタイルと公開内容 ・第1回議事録について ③会議日程・開始時間について 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)生涯学習施策の課題解決への方向性について (2)その他 6 その他
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民が参加する審議会等の運営のあり方について 2. 立川市審議会等会議公開規則 3. 審議会等の議事の要旨（要点） 4. 第1回立川市生涯学習推進審議会 会議録 5. 立川市「生涯学習に関するアンケート」の分析結果と考察 6. 第4次長期総合計画とは 7. 立川市第4次長期総合計画 第4次基本構想 骨子（案） 8. 立川市第3次長期総合計画 第3次基本計画 9. 市内学習等施設一覧 10. 学習施設の利用状況について 11. 東京都の学習施設設置状況及び社会教育事業実施状況 12. 全国の学習施設設置状況及び社会教育事業実施状況 13. 立川市における生涯学習施策の課題について
出席者	<p>[委員] 朝岡幸彦会長、長屋昭副会長、榎本弘行委員、佐藤良子委員、眞壁繁樹委員、難波敦子委員、枝村珠衣委員、楢崎茂彌委員、伊藤暢子委員、竹内英子委員、加藤良重委員、宮本直樹委員</p> <p>[事務局] 生涯学習推進センター長 浅見孝男、管理係長 杉浦丘美、北岡聡美</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	(1)審議会議事録について

	<ul style="list-style-type: none"> ・委員から出た意見と決定事項をまとめる。訂正は、会議の場で諮ってから行う。 (2)生涯学習施策の課題解決への方向性について <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関するアンケート結果および委員からの課題提示を踏まえ、生涯学習推進計画の骨子の方向性を決める。 <意見> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から、公共施設での学習機会は市民から期待されておらず、また行政実施講座の評価も高くないと読み取れるのではないか。よって個人の学習活動より、団体活動の支援に力を入れるべきではないか。 ・アンケート結果とは裏腹に、一人あたりの公共施設利用率が高く、現地では活動が活発に行われている印象を受ける。しかし、施設の空白地帯があることは否めず、学習拠点の適正配置が必要である。 ・市民の中には、学習機会があることすら知らない方も多く、学びたい人が学べる条件が必ずしも整備されているとは言えない。職業や障害の有無、国籍の違いによってそれが制限されることなく、希望するすべての人に学習権を保障できるよう情報提供の仕方を工夫するべきである。 ・学習権の保障については、1974年のいわゆる三多摩テーゼ（「新しい公民館像を目指して」）以来、無償であることがすなわち学習機会の平等であると言われてきた。 ・人材の育成・活用を推進していくべきである。市民のニーズをとらえ、次の一步へとつなげるサポート役・コーディネーター役の職員がいるとよい。 ・人の問題を考えるとき、社会教育に欠かせない4つの視点「事業」「職員」「施設」「サークル・団体の支援」がある。 ・市民と行政との連携・協働の視点も必要である。それぞれの良さを生かした役割分担ができるよう、市民交流大学や地域学習館運営協議会について議論し、情報共有を行っていくべきである。 <まとめ> <ul style="list-style-type: none"> ・たちかわ市民交流大学を中心にこれまでに培われてきた「立川スタイル」に合わせ、生涯学習推進計画の柱を作成する。ポイントは以下の2点。 ①たちかわ市民交流大学の仕組みをどのように機能・発展させていくか（企画運営委員会や庁内調整のあり方、協働のあり方） ②公民館を廃止し設置した学習館の役割・機能について今再び問い直す（地域学習館運営協議会のあり方など）
担当	<p>教育部生涯学習推進センター管理係</p> <p>電話 042-527-5757</p>